



《建長寺の桜》 写真は2022年3月28日 鎌倉市にて撮影

第13回高校生溶接コンクール神奈川県代表選抜予選会 開催

日時 2022年2月23日(水・祝)
 場所 (一財)日本溶接技術センター

2022年2月23日(水・祝)に(一財)日本溶接技術センターにおいて、第13回神奈川県高校生溶接コンクールを開催しました。このコンクールは、日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、製造業の若き担い手育成を支援する目的で開催するものです。この大会の優勝者および準優勝者は、7月16日(土)に東京ビッグサイトの特設会場にて開催予定の、第12回関東甲信越高校生コンクールおよび第22回高校生ものづくりコンテスト関東ブロック予選大会の神奈川県代表選手になります。

溶接棒は例年、株式会社神戸製鋼所様よりご協力を頂き、会長賞として優勝者・準優勝者へ遮光面、3位4位の方へはエプロン袖付前掛を贈呈しました。

参加者 7校15名(内4名がコロナ禍配慮にて当日欠席のため、参加者は下記の11名となりました。)

(県立川崎工科：1名、県立向の岡工業：2名、県立藤沢工科：3名、県立横須賀工業：1名、県立神奈川工業：1名、
 県立小田原城北工業：1名、県立平塚工科：2名)

コンクール結果

優勝 山田 琉璃葵 (県立平塚工科高校)
 2位 高橋 大介 (県立神奈川工業高校)
 3位 山川 未浩 (県立向の岡工業高校)
 4位 佐々木亜心夏 (県立藤沢工科高校)

関東甲信越高校生コンクール神奈川県代表選手

高橋 大介 (県立神奈川工業高校)
 山川 未浩 (県立向の岡工業高校)



優勝者の山田さんは高校3年生のため、卒業となりますので2位の高橋さんと、3位の山川さんの2名が関東甲信越高校生溶接コンクールの神奈川県代表選手になります。

2022年(第65回)神奈川県溶接技術コンクール

日時 2022年3月25日(金)
場所 (一財)日本溶接技術センター

2022年(第65回)神奈川県溶接技術コンクールは下記の通り開催しました。

昨年に引き続きコロナ禍での開催となり、関係者数も最小限での実施となりました。感染対策のため開始時間を7回に分け、1組5名程度としました。競技においては、日頃の切磋琢磨を元に若い力を存分に発揮していました。

選手待機場所では企業様単位にエリアが分かれていたこともあり、時間帯の違う同輩と競技結果や溶接具合の報告など、競技感想を述べあっている場面も見受けられ微笑ましさを感じました。補助で来場された関係者の方々の献身的な運搬や状況の見守りなど、各企業様が「チーム」で取り組んでいる様子が強く印象に残りました。



2022/03/25 14:22

なお、外観審査はコンクール当日に行い、後日、X線審査、曲げ試験審査および最終審査を行い総合順位が決定します。総合順位で被覆アーク溶接上位2名、半自動溶接上位2名の計4名が、2022年9月24日(土)、25日(日)に青森県で開催される第67回全国溶接競技会の神奈川県代表選手として推薦されます。

また、今年は社会人コンクールにて女性選手が35名中4名、高校生コンクールでは11名中2名出場し優勝もされるなど、女性の活躍も目立つようになってまいりました。(次ページにて「溶接女子」の寄稿をさせていただいております。)

※第65回神奈川県溶接コンクールの結果および総合順位は次号で報告します。

<コンクール概要>

- ・主催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 2022年3月25日(金)
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加企業：14事業所・教育機関35名

被覆アーク溶接の部：8事業所11名

事業所名(あいうえお順)	人数(人)
(株)IHI横浜工場	2
(株)大倉製作所	1
コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部	1
コベルコ溶接テクノ(株)開発試験室	2
JFEエンジニアリング(株)	2
(株)総合車両製作所	1
富士電機(株)	1
三菱重工業(株) 相模原製作所	1

半自動用溶接の部：12事業所・教育機関24名

事業所・教育機関名(あいうえお順)	人数(人)
コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部	1
コベルコ溶接テクノ(株)開発試験室	2
JFEエンジニアリング(株)	2
ジャパンマリンユナイテッド(株)横浜事業所	3
住友重機械マリンエンジニアリング(株)	3
(株)総合車両製作所	3
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	2
東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場	1
日産自動車(株)	3
日本溶接構造専門学校	1
富士電機(株)	1
三菱重工業(株) 相模原製作所	2

寄稿記事(溶接女子の活躍)

(株)総合車両製作所 神田 豊



永澤 涼夏さん

二瓶 美摘さん

会員の皆様、ご安全に、(株)総合車両製作所の神田豊です。弊社は63年の歴史を誇る東急車輛製造(株)を前身とした輸送用機器メーカーで、主力のステンレス製鉄道車両だけでなく、新幹線車両や特急車両も製造しています。2012年の発足から10年を迎え、リーディングカンパニーを目指し、技術力の向上に努めています。さて、今回は「溶接女子の活躍」について、弊社の生産部構体課に所属する女性社員の活躍を紹介いたします。東急車輛時代には、構体課で製造に携わる女性社員はおりませんでした。総合車両製作所になってからは、女性社員も増え、新入社員全員は配属先が何処になろうと、接合技術センターで10日間の実技と座学の溶接教育を受けるカリキュラムになっています。

今回紹介する構体課の女性社員は2019年度・2020年度入社の6名です。

- ☆永澤 涼夏さん : 構体総組立を担当しています。(写真左から1)
- ☆上田 優茉さん : 側構体組立を担当しています。(写真左から2)
- ☆南澤 かれんさん : 技術スタッフとして現場を支えています。(写真左から3) (業務は取材当時です)
- ☆二瓶 美摘さん : 端台枠組立を担当しています。(写真左から4)
- ☆末木 美聖さん : 側ブロック構体組立を担当しています。(写真左から5)
- ☆荻原 一乃子さん : 新津事業所でスポット溶接とペンレーザ溶接をやっていました。(写真左から6)

弊社では2018年度より、溶接実習研修制度を設け、接合技術センターにて入社2年目の社員を対象に、半年間で溶接実習訓練を主に溶接に関する知識や、接合技術センターの業務も行っています。2020年度の研修生として来られた永澤涼夏さんと、2021年度の社内コンクール「炭酸ガス半自動溶接の部、横浜事業所1位」の成績で、2022年3月25日で開催される神奈川県コンクールへの出場権切符を獲得した、二瓶美摘さんを主に取材しました。

永澤さんは2020年度の社内溶接コンクールの炭酸ガス半自動溶接の部に出場し、横浜事業所内で2位の成績で、見事、神奈川県コンクールに出場できる切符を実力で得て、2021年3月に開催された神奈川県コンクールに炭酸ガス半自動溶接の部に出場しています。又、実務においてはステンレス製車両と新幹線などのアルミ製特急車両の構体組立作業場で、6面体の結合で溶接を含む一連の製缶作業をこなしています。

二瓶さんは2020年度入社で、溶接の座学の知識を豊富に持ち、又、訓練や実務において、溶接に対する姿勢も真剣に取り組み、その実力を持って、端台枠組立の車両の重要部位の溶接を任せられました。2021年10月より技術スタッフの業務に就任し、現場を支援する観点からも活躍しています。

今後も日々の鍛錬で技能を上げ、女性の視点で見た観点で、社内の溶接技術向上、そして神奈川県の溶接技術の発展の為に活躍していただきたく、期待の思いを込めて現在の活躍や今後の抱負などを両名に語っていただきました。

学生時代が工業高校ということもあり、物作りをやっていたので、将来も何かを造りたいと思いこの会社に入社しました。

今では、電車という大きい物で、やりがいのあるものに携わることができています。会社に入って初めて溶接をやり、周りの先輩の指導のおかげで、社内コンクールや県大会などに出場することが出来、車両の溶接作業に深く関わることが出来ているので、今後も頑張りたいと思います。(永澤 涼夏)

私は高校から大学院まで機械科に所属し、ものづくりに携わる勉強をしてきました。当社に入社してからは車体製造の現場に配属され、先輩方のご指導のもと、日々の仕事の中で様々な車体の溶接に携わってきました。昨年度に引き続き今年度も社内コンクールに出場し、今年度は県大会にも出場する事が決まり、より一層、身の引き締まる思いです。2021年10月からは技術スタッフに配属され、車体の溶接はできなくなりましたが、現場で学んだ知識や技術を基に、現場のサポートに注力したいと考えています。(二瓶 美摘)

お知らせ

4月1日(金)よりWeb申込み(愛称:e-Weld)の運用がスタート!



(一社)日本溶接協会では受験者の利便性向上を目指し溶接技能者資格の試験など各種手続きのWEB申込み化(愛称:e-Weld)の取り組みを進めておりましたが、2022年4月1日(金)より運用がスタートいたしました。

企業様ご担当者様は、今後の手続きのWeb化移行のイメージは下記ようになります。

御不明点は当協会までお問い合わせください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

サーベイランス手続き(資格更新)

サーベイランス手続き(資格更新)は、有効期限が2022年6月30日以降の資格証はWeb手続きに移行。

尚、Web化に伴いサーベイランスの業務は東部地区溶接技術検定委員会に移管となります。

今後サーベイランスのお問い合わせは、(一社)日本溶接協会 東部地区溶接技術検定委員会にお願いいたします。

試験評価/再評価試験申込

2022年9月1日以降の評価試験/再評価試験申込は、Web手続きに移行。

※2022年8月末までの評価試験/再評価試験申込は、従来通りの書面申し込みとなります。

申込方法のWeb化移行に伴い、企業様には受験地各都道府県ごとに勤務先管理マイページの作成が必要となります。

当協会会員企業様の勤務先管理マイページの神奈川県分登録状況としましては、会員様428社中、301社様にご登録いただきました。会員の皆様にはご協力をいただきまして、ありがとうございます。未登録の会員様には、勤務先管理マイページ作成の申請を、引き続きご協力願います。e-Weldの準備作業として、1会員様につき1つの勤務先管理マイページを作成し勤務先担当者様を1名登録(システム上登録は1名になります)いたしますので勤務先担当者を選任頂き、下記の方法にて、神奈川県分のID・初期パスワードをご依頼ください。

【勤務先管理マイページ登録手順】

- ① 神奈川県溶接協会のホームページにアクセス <https://www.kngwes.or.jp/>
- ② トップページ中段の「お知らせ」欄に、【e-Weld】勤務先管理マイページ依頼書という掲載箇所がありますので、そこからエクセルファイルをダウンロードし、会社情報や担当者情報を入力してください。
- ③ 当協会代表アドレス(contact@kngwes.or.jp)宛に上記エクセルファイルを添付送信してください。
- ④ IDと初期パスワードのメール通知をさせていただきます。※返信までに数日いただいております。
- ⑤ 上記のIDとパスワードを元に下記URLからログインし、パスワードを変更してください。

日本溶接協会ホームページ <http://www.jwes.or.jp/> のe-Weldバナーをクリックし、右上の「マイページにログイン」をクリック → 「勤務先管理マイページはこちら」の「ログイン(e-Weld)」をクリックしてログイン後にパスワード変更

- ⑥ ログイン後の操作方法については、日本溶接協会のホームページからe-Weldのバナーをクリック → 下段右に記載の「勤務先管理マイページでの受験申込み方法説明書へ」というリンクをクリックすると、PDF形式の説明書がダウンロードできますので、そちらを参照して進めてください。

【個人マイページ登録手順】

個人会員様で個人名義にて登録される方は、上記⑤の日本溶接協会のホームページのe-Weldバナーをクリックし、ページ右上の「マイページ新規作成」の箇所をクリックして登録をお願いいたします。

e-Weldのメリット



自宅・勤務先から申込み

手書きの申し込み書不要
郵送不要でオンライン受付



24時間申込み

お好きな時間に申込み可能
※メンテナンス時間を除く



書類提出の簡略化

適格性証明書の原本、
添付書類の一部を省略可能



合否・保有資格を確認可

マイページより、保有資格や
合否の確認が可能です。